



TAKATSU NETWORK

医療法人社団 亮正会 総合高津中央病院
川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121
http://www.takatsuhosp.or.jp

新

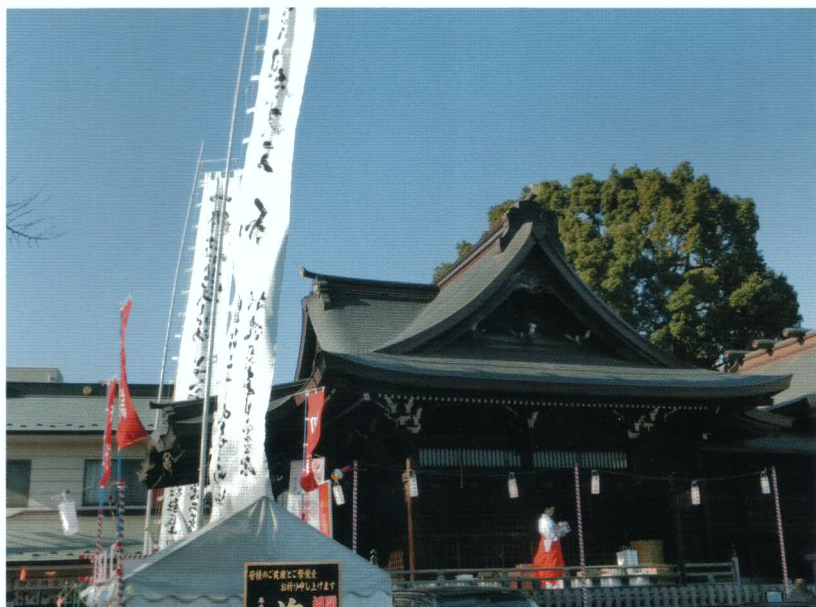
高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2014年◆冬号(2014年1月発行)

Vol.44

季節の写真館 2014・元旦 溝口神社



総合高津中央病院 理念・基本方針

理念

医療を通じて地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

巻頭言

2014年 年頭のご挨拶

病院長 小林 進



明けましておめでとうございます。

昨年4月に山中前院長の後を引き継ぎ、病院長に就任しました。院長就任時に「働きやすい、誇りを持って働く事の出来る職場環境づくり」をスローガンに掲げ、病院組織の充実を図りました。昨年は、放射線科医師の増員および80列CT、Angio（血管撮影）装置等の高機能画像診断機器の導入を行いました。この結果、疾患に対する正確かつ迅速な診断が可能となり、治療成績の向上に繋がりました。また、中央診療部門に医師事務補助者（MC）3名による医師支援部を作り、診断書、診療情報提供書、紹介患者報告書等の作成を通し、医師の仕事量の軽減を図り、効率的に診療を行える環境を作りました。



2014年 御来光

まだ十分に機能を発揮している状態ではありませんが、医局内に於いて徐々にその実力が認められ、このチームは最近では医局内に於いてなくてはならない大きな存在になってきました。また、

看護部門におけるフィッシュ哲学の導入が昨年後半に行われ、最近ではhospitalityの向上に伴い病院全体のチームワークに一体感が出てきたように思います。

病院に於ける今年最大の事業は耐震工事です。工事は1号館（入院棟）1階及び2階で主に行われ、工事期間は約6か月間です。工事に伴う2～3病室の短期間病室閉鎖等、色々と不都合な事があるかと思いますが、ご協力お願いいたします。

ソフト面ではPFM(Patient Flow Management)の導入を考え、準備を進めています。PFMは看護部、ソーシャルワーカー、医師、入退院事務が一つのチームとなり、患者さんの入院から退院まで一貫した患者支援を行うと共にベッドコントロールを行い、病床稼働率の向上をも視野に入れたシステムです。このシステムが順調に稼働した場合、救急の受け入れ及び紹介患者の受け入れもスムーズに行うことが出来、地域連携にさらに貢献できるものと考えております。

今年1年間よろしくお願い申し上げます。



名前

しまだ せつや
嶋田 摂也

資格等

医学博士

卒業大学・
卒業年度

聖マリアンナ医科大学
平成11年卒
昭和大学大学院
平成15年卒

自己紹介

前任・菊地先生の大学退局に伴い、
昭和大学病院（横浜北部）より赴任い
たしました。
総合高津中央病院においても最新・最良の診療と
実践を目指して、微力ながらも貢献できる様、努力
してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

専門領域

眼科

耐震補強工事実施についてのお知らせ

総合高津中央病院では、東日本大震災発生後、建物の安全性確保が求められている中、大地震発生時にも地域の医療に貢献し、患者様、職員の安心安全を守るため、平成26年度中には完了するように1号館の耐震補強改修工事を実施します。

工事に伴い、騒音、振動、出入口などに一部制約がでることになりますが、施工方法や工事予定時間、場所の伝達など万全の配慮を行うよう努めます。大変ご迷惑をおかけしますが、患者様、近隣の皆様にはご理解・ご協力の程、お願ひ申し上げます。

▶耐震改修の基本的な考え方

1981年以前の旧基準の建物は、設計法が現在と異なるため、現在と同様な「保有水平耐力」に基づく方法で耐震性の検討を行うことができません。このため、耐震診断で建物の強度や粘りに加え、その形状や経年状況を考慮した耐震指標：Is値を計算します。

耐震改修促進法等で耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断されます。「Is値 \geq 0.6」の建物とすることは「必要な耐震強度に対し100%の強度を持っている」ことを意味します。また、同じ耐震性能を持つ建物であっても、強さ（耐力）の大きい建物と粘り（変形能力）に優れた建物があります。

総合的にはIs値が0.6を上回った場合でも、それが粘り強さの指標が大きい建物の場合、地震で大きな変形が生じることで大破する場合があります。これらの被



地下の厨房

害を防ぐために、建物にある程度の強度を確保する目的で建物の形状（SD）や累積強度（CT）の指標に関する判定基準が設けられ、安全の判定基準はIs \geq 0.6かつCT・SD値 \geq 0.3となります。

総合高津中央病院1号館は上記判定基準を満たした耐震補強を行い、「地震の震動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」建物に生まれ変わります。

耐震改修は、耐震調査・診断の結果に基づき、建物の形態、構造や経済性、施工性などの条件を総合的に検討して、耐震壁や耐震ブレースによる耐震補強を行います。

▶既存建物を使用しながらの工事

総合高津中央病院1号館の耐震改修では、敷地の制約から、病院機能の1部は他に移転できませんが、既存建物を使いながら工事しなければなりません。患者の皆様と工事範囲を明確に分けるため3期に分けて実施する予定です。工事の実施にあたりましては、工事範囲の仕切り、通路の確保や誘導表示の設置、警備員の配置、作業方法の工夫などにより、患者様や職員の安全確保を最優先にして、工事を行ってまいります。また騒音、振動が発生する工事は、周辺への影響を配慮しながら行います。



鉄骨ブレース



スリット

高津中央クリニック

“新しい理念、 基本方針に込められたもの”

当クリニックでは、創立25周年を迎え、さらに安全で質の高い総合健診システムを提供するため、そして地域の皆様へ貢献するために理念を変更しました。

当クリニックの役割は今後ますます重要。質の高い、受診者にやさしい、信頼できるクリニック、皆様の健康という一生の財産を守るため、より充実した健康管理を目指し、たゆまない努力と改善に取り組んでいきたいと考えております。

◆理念◆

健診を通じて病気の早期発見・
予防に努め、地域の皆様の
健康増進に貢献します。

◇基本方針◇

1. 受診者の権利を尊重し、個人情報に関する法令の遵守に努めます。
2. 検査結果を十分に理解頂くよう、わかりやすい説明に心がけます。
3. 常に知識と技術の向上に努め、精度と質の高い健診の提供を目指します。
4. 笑顔とおもいやりで皆様に快適な健診を受けて頂くよう努めます。



平成25年度 第4回

*** 糖尿病教室 開催 ***

日時：2月土曜日（1日・8日・15日・22日）
14時～15時30分

場所：2号館1階フロア

参加費：無料 但し資料は実費（500円）
1号館地下1階栄養部にて資料の冊子をお買い求め下さい。当日受付でも購入できます。

1日(土)

- 糖尿病とは
- 治療と合併症

8日(土)

- お薬について
- 運動について

15日(土)

- 検査について
- 食事について①

22日(土)

- 日常生活について
- 食事について②

*** 問い合わせ先 ***

総合高津中央病院
栄養部
*
糖尿病教室開催チーム
(安田・阿部)
*
TEL044-822-6133



ワフコインランチの様子

地域医療連携 懇談会を終えて

去る平成25年11月1日（金）に、当院の近隣で開業なさっている先生方を中心に地域医療連携懇談会を開催しました。昨年度以上に多くの御出席を賜り、盛大な会となりました。

【第一部：講演会】

講演会では、放射線科部長の石井医師による『放射能と放射線の危険性について』、内科部長の中尾医師による『当院における新たな冠動脈疾患の画像診断』の2講演をご用意し、当院で採用している最新機器をご紹介しました。

第一幕の『放射能と放射線の危険性について』では、世間でも関心の高い「被爆」を取り上げ、被爆をしてもなおCT検査を実施することの意味について説明し、また当院で採用している高性能CT（大学病院並み）について紹介しました。診療画像に関することは何でも気軽に石井医師にまでお問い合わせください。

第二幕の『当院における冠動脈疾患の新たな画像診断』では、当院で採用している冠動脈CTと血管造影装置について症例を交えて紹介しました。これらの装置を用いることで患者さんの身体への負担が少なく、かつ、高精度の検査によって病気の早期発見ができるようになりました。胸痛などの症状、リスクファクターのある患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

【第二部：懇談会】

懇談会は来賓と当院職員を合わせて92名での開催となりました。多摩区



医師会長の中村健先生（中村クリニック院長）、宮前区医師会長の竹中希久夫先生（竹中医院院長）よりお言葉を頂戴し、高津区医師会長の渡辺茂先生（渡辺クリニック院長）による乾杯の御発声とともに開宴しました。会が始まって少しお酒が回り始めたころ、初めての試みとして当院の各科と医師の紹介を挟みました。それぞれの科の雰囲気や各医師の個性が垣間見える自己紹介でしたが、当院をより身近に感じられる良い機会になったのではないかと思います。その後も会場では至る所で活発な意見交換がなされ、多くの貴重な御意見を頂戴することができました。特に「肺炎患者や判断に迷う患者を受けて欲しい」という切実な訴えが多く聞かれ、当院が地域医療において果たすべき役割について改めて考える機会となりました。

次年度はさらに充実した会にすべく思案している次第ですが、今回お越しくくださった方々もお越しになれなかった方々も、次回お会いできることを楽しみにしております。

末筆になりましたが、御多用にも関わらずご出席くださいました来賓の皆様には、心より御礼申し上げます。今後とも総合高津中央病院ならびに医療連携課をよろしくお願いいたします。



急性期における術前・術後のリハビリ

リハビリテーション部 理学療法士 阿波井 美帆

急性期病院における腹部外科術後のリハビリテーションの目的は、術後の合併症の予防のために行われます。術後の合併症とは、呼吸器合併症、深部静脈血栓症、廃用症候群（筋萎縮や関節拘縮）などです。

なぜお腹を切って呼吸器の合併症が出るの？と思われる方も多いと思いますが、腹部の手術では、呼吸に関係する腹筋群や胸部の筋肉を直接切開することが多く、呼吸運動が抑制されます。また、疼痛や腹部膨満による横隔膜の動きの抑制、麻酔に関する操作によって気管内の線毛運動の低下による痰の喀出の低下、肺血管外に浸出した体液による肺水腫や気道閉塞による無気肺など多数の原因によって呼吸器合併症が発生しやすい状態となっています。

深部静脈血栓症とは、エコノミー症候群の呼び名でも知られていますが、長く動かないでいることで下肢の静脈に血の塊（血栓）ができてしまうことを言います。怖いのはその血栓が血管からはがれて肺動脈をつまらせてしまう肺血栓塞栓症という状態です。肺の動脈がつまってしまうので突然の呼吸困難による突然死にもつながります。術後臥床による圧迫と不動、脱水により起こり術後合併症としては頻度の高いものです。廃用性筋萎縮や関節拘縮は、長期の臥床によって発生します。それらは、一度生じてしまうと日常生活を大きく阻害してしまう因子となります。

これらの術後の合併症を予防するために必要なことは、できるだけ臥床期間を短くすることが重要とされています。具体的には、手術後翌日からできるだけ離床して歩ける人は歩くようにしています。術後翌日から歩くの？と疑問に思う方も多いと思いますが、歩くことで換気増大に伴う肺の拡張、線毛運動の活性化による喀痰の増加、循環動態の改善による血栓予防、筋萎縮や関節拘縮の予防と術後合併症全般の予防につながります。もちろんそれ以外にも、呼吸筋のリラゼーションや深呼吸、呼吸指導や介助など呼吸器合併症に対するリハビリも実施することで合併症予防をしていきます。このように術後すぐからリハビリをすることで早期に退院することが可能になります。



左：阿波井副部長代理
中央：川辺主任

では、術前にはどんなリハビリをするのかは、術後にリハビリに介入しやすくするために実施していきます。術後にどのような目的でリハビリをするかを理解することで術後すぐに歩くなどのリハビリに移行しやすくなります。また、呼吸法の練習や肺活量を増やす訓練は、そのまま術後リハビリとして応用できます。また、術後の合併症が起きやすいかどうかを術前に細かく評価をすることでより正確な情報を持って介入することができます。それらの情報を病棟の看護師や医師と共有することで、術後のリハビリの計画に役立てることにつながり、チーム医療を実践することができます。

個人情報保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。

総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

② 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかなる正対策を実施します。

③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

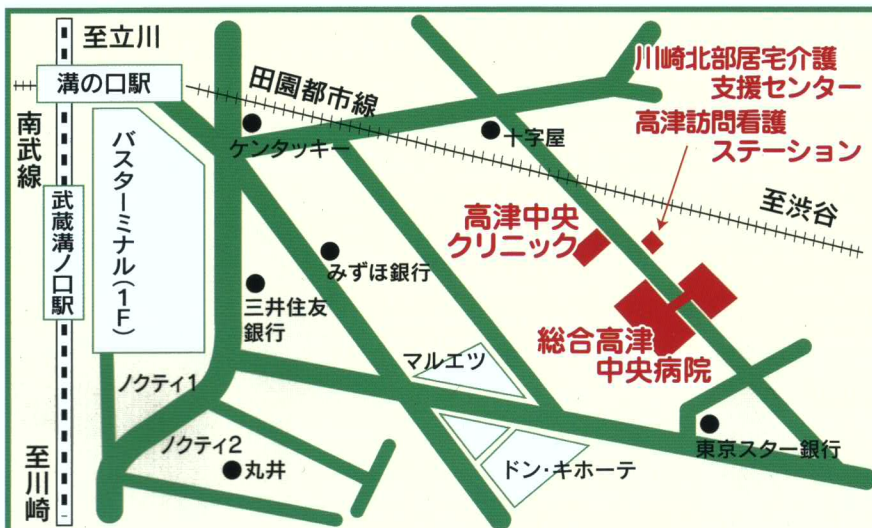
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。



▶ 総合高津中央病院

川崎市高津区溝口1-16-7
TEL (044) 822-6121 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

▶ 高津中央クリニック (健診)

川崎市高津区溝口1-16-3
TEL (044) 822-1278 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/>

▶ 川崎北部居宅介護支援センター

川崎市高津区溝口1-17-5
TEL (044) 822-6159 (代)

▶ 高津訪問看護ステーション

川崎市高津区溝口1-17-1
TEL (044) 822-1287 (代)